伸びっ子発表会
豊松村立豊松小学校　期間　平成１３年１１月１６日（金）

○　実施内容

毎秋実施している劇を中心とした発表会を，本年度は日頃の学習内容やその成果を活かしたものに変えた。『学んだことを元気いっぱい発表しよう』とスローガンを掲げ，①日頃の学習成果を総合的に生かす，②発表をとおして学校・学級生活の向上を図る，③表現力の向上を図ることをねらいとした。この日は学校開放日として，保護者・地域住民に参加を呼び掛けた。

高学年が運営し，全校合唱や伸びっ子音頭と次の発表とした。

１年生は，国語で学習した「くじらぐも」を劇にして発表。２年生は，国語で学習した「スイミー」を劇にして発表。３年生は，「よさこいソーラン」「スターライト２００１」の踊りに挑戦。４年生は，総合的な学習の時間で取り組んだ村のゴミ問題を劇にして発表。５年生は，総合的な学習の時間で取り組んだ平和問題をもとに「はだしのゲン」を劇化。６年生は，総合的な学習の時間で学んだ英語による劇「３びきのこぶた」に挑戦。

ゴミ問題について発表

○　保護者・地域の人の反応や意見

アンケートによる参加者の主な意見は次のとおりだった。

「表現運動はとてもよい発想。また見たい。」「教育の尊さが胸にしみ，感涙した。」「学校で学んだことが上手に発表できていて，こちらも勉強させられた。」「大変よかった。私たち老人会も元気をもらった。ありがとうございました。」「６年生の英語劇は学習の成果が十分発揮されていた。新しい取組みでもあり，２１世紀を感じさせられた発表会だった。」「今までは両親で見学できたが２人とも仕事を休むのは難しい。」

○　成果と今後の課題

- 総合的な学習時間の発表の場とすることができ，またその内容を保護者や地域の人に理解していただく機会となった。
- 地域と密着した学習内容の創造や地域社会の協力の大切さを実感した。
- 開催日は保護者・地域住民が参加しやすいことが必要である。